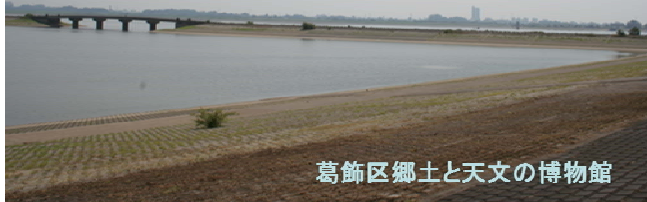


2010(平成22)年9月2日

館外講座だより9

# 水害教訓バスツアー



葛飾区郷土と天文の博物館

2001年夏以降22回目となるバスツアーは、1947(昭和22)年9月のカスリーン台風の故地とその後の教訓によって建設された施設群を訪れました。決壊した江戸時代の開削路である新川通右岸は、現在スーパー堤防と河川防災ステーションに生まれ変わりました。歴史的に幾多の変遷を経た渡良瀬遊水地では、谷中湖を半周し越流堤を遠望しました。利根川・江戸川の分岐点に建つ千葉県立関宿城博物館では中の島公園まで足を伸ばしました。そして、首都圏外郭放水路の巨大な地下水槽・・・東京低地を水害から守るため、上流地域で行われている営みを体感し、今後の教訓としてぜひ活かしてください。

## ◆カスリーン公園

みなさんのアンケートから 女性○・男性● (参加回数)です。

- 1947年生まれの私にはただ感慨深い公園でした(5回目)
- 台風の名前は知っていますが公園があるとは知らなかった。当時小学2年生でした(7回目)
- カスリーンのあとの家屋を何軒も見ただけに「決壊碑」を見学した感慨はひとしおだった(3回目)
- 決壊地をみて感慨深いものがあった。スーパー堤防の大きさを実感できた(初参加、ほか多数)。
- 場所が変わっていたのには驚いた。葛飾区民として一度は訪ねなくてはいけない場所である(初参加)
- この旅のお陰でスーパー堤防を知りました。大変な工事だったと思います。その場に立って今、黄色くなった田んぼを濁流がおそって来る様を想像いたしました(8回目)
- 碑が立っているところが決壊地点ということでしたが、堤防の高さや広さは今とは異なっているので、決壊したとはなかなか実感がわきませんでした(初参加)
- すごい幅があるので絶対切れないでしょうが、この両端が骨折したら大変ですね!それと費用対効果はあるのでしょうか?(3回目)
- 全体がスーパー堤防になるまで大水がでませんように(2回目)



カスリーン台風決壊口跡碑



水害に備えるテトラポット群

## ◆渡良瀬遊水地(谷中湖)・越流堤

- 今までなかなか行けなかったのでたいへんありがたく思いました。遊水地の中を案内していただけるのはバスツアーならではです(初参加)
- 荒畑寒山の「谷中村滅亡史」を読んだばかりだった。谷中湖の湖底に村の家々や暮らしの跡が沈んでいるとは想像できない。人工的できれいな整備されたところでした(初参加)



渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団



白井勝二さんにご案内いただきました。



谷中村の故地

## 渡良瀬の湖畔に映える 百日紅

時移ろい 記念碑となり 災害の 堤の上に 風吹ぬけり



♪一夜づけ 頭脳はんらん 遊水地

- 屋敷林の名残りなどが多く、教材映像を観て谷中村の事を想像しながら、動植物の鑑賞を楽しむことができました。百日紅の花が終いの美で素敵でした（初参加）
- 足尾銅山（渡良瀬源流Ⅱ）に昨年参加させていただき今回遊水地に来て、谷中村の人々の苦しさ大変さを思い、又このような遊水地により私達葛飾の人は守られているのだと感慨深く思った（5回目）
- 広大な敷地におどろいています。季節の好いときに又一度（7回目）
- 外からはみていたが中に入れたのは初めてであった。越流堤については直接現場でみられるともっとよかった！（2回目、ほか多数）
- その規模の雄大さに驚くとともに、田中正造の義挙には満腔の敬意を払いたい（3回目）
- かなり広く、かつガイドして下さる方がいたので面白かった（初参加）
- 家をすてられた人々の気持ちもわかりました。その人々のおかげで我々は救われていると・・・（初参加）



ご説明いただいた上原武雄さん



中の島公園

### ◆関宿城博物館

- 利根川と江戸川の合流を目にできてよかったです（5回目）
- 水害にもめげず、自然を利用して生活した様が勉強になりました（初参加）
- 関宿の位置、存在が確認できた（初参加）
- 関宿城裏手公園のパンダ、ゴリラがシュールで良かったです。あのセンスはすごいと思います。好きです！（初参加）
- 地域の生活と川の関係がわかりやすく展示されていて歴史の勉強になった（初参加）
- ボランティアの方の説明が熱心でした（5回目、ほか多数）
- 中の島の閘門をもう少しゆっくり見たかったです（一応そこまで行きましたが・・・）、このスーパー堤防も幅広で心強いですね（3回目）
- 棒出し、水塚など、この土地特有の言葉を知りました。水との戦い大変だったのですネ（8回目）
- 関宿水閘門—江戸川の起点にパナマ運河。ちょっと感動（8回目）

## ◆首都圏外郭放水路

- 見学できる機会がなかったので、今回のツアーに参加できてよかった（4回目、ほか多数）
- 一番楽しみにしていたが、予想外にメカニズムが面白く、現場見学よりもシステムの説明が一つ一つ面白かった。現場も圧倒的だが、第一立坑が見れなくてかなり残念（初参加）
- 都内の地下放水路も見たくなりました（初参加）
- テレビ等映像では見ていたものの、実際に身を置いてみてその巨大さに圧倒されました。水害から守られている実感も感じました（5回目）
- あ〜！！ すごい・・・の一言。ライトアップされたパルテノン神殿より荘厳（8回目）
- 渡良瀬遊水地といい、ここもデカイ。国はあまりみえない所でいろいろやっていることな（3回目）
- 月面にたった様な・・・、別世界の空気を吸いました。人間の頭脳って凄いです。水が貯まっている時も見たいです（8回目）
- 116段は休みなく「完歩」できた。85歳万歳！（3回目）



レクチャールーム



屋上からみる江戸川

## ◆その他・自由欄

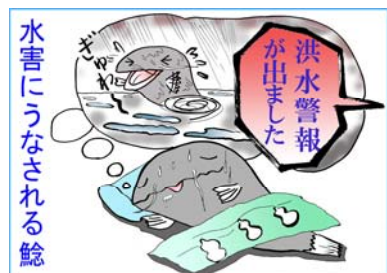
- 水のありがたさと恐怖を共に実感し、水の敬意を覚えました（初参加）
- 残暑の厳しい中のバスツアーであったが、台風の時期を迎えて教えられることが多かった（2回目）
- 「縄文海進・海退」「東遷・東遷以前」の川のDNAと昔の地形を知り、東京低地が上流部の河川管理で守られていることがよくわかり、災害時どのように行動すればよいかを考えるよい機会になりました（8回目）
- 川筋というのが道筋以上に人力によってつけかえられてきた歴史を初めて知り、驚きました（初参加）
- この見学会のように地表の現象と改めて歴史的観点、自然的観点からとらえて見る企画は、新しい視点を与えてくれる（2回目）
- 羽生市の中川の源流、一度ツアーしてください（初参加）
- 荒川源流をお願いします（10回目）

TOUR DATA		
時間	経過	滞在時間
7:30	博物館出発	
7:47	四つ木IC	
8:02	川口JCT	
8:25	加須IC	
8:40	カスリーン公園	16分
9:04	道の駅おとね	16分
9:40	渡良瀬遊水地 子供広場	80分
9:45	谷中湖半周	
10:03	ウォッチングタワー	
10:34	上流部越流堤	
11:13	道の駅きたかわべ	25分
12:15	千葉県立関宿城博物館	115分
14:43	首都圏外郭放水路	115分
17:21	流山IC	
17:33	八潮PA	10分
17:52	四つ木IC	
18:08	博物館到着	
内山観光バス：フェニックス号		
ドライバー：安田 充さん		
走行距離：185 km		
応募73人キャンセル1名 当日参加46名(1.55倍)		
参加費2200円うち65歳未満見学実費160円		

## ツアー後記

超！酷暑のなかの1日で熱中症が懸念されましたが、全員元気で帰館でき安堵しています。

葛飾からはるか上流の地で、巨大な施設が水害に備えて建設され、それを護っている人々がいることを実感できたでしょうか。越流堤も踏みしめてみたかったですね。関宿城では見所が多く、駆け足で申し訳ありませんでした。そして・・・地下の大神殿。どうぞ、みなさんの見聞を多くの方々に伝えて、東京低地の未来を一緒に考えていきましょう。



カスリーン台風から63年めの日に

担当学芸員 橋本直子 博物館専門調査員 富澤達三 補助 勝田真幸



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

TEL 03(3838)1101 <http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/>